

厳浩会長が江蘇省日本開放イノベーション協力交流会で講演

日本中華總商会会長、EPS ホールディングス株式会社代表取締役会長兼益新集団総裁の厳浩が、5月30日東京品川プリンスホテルで行われた江蘇省日本開放イノベーション協力交流会に招かれて講演を行い、故郷の発展に声援を送りました。厳会長が講演の中で、自身が江蘇省張家港市から日本に留学し、EPSを創立して再び故郷に投資・企業経営する経歴に触れ、日中をつなぐヘルスケア産業の専門商社を目指す益新集団のビジョン、並びに江蘇省における事業環境の利点等について紹介しました。また、日本中華總商会が日中経済交流の中で発揮した積極的な役割にも言及し、今後も引き続き故郷の発展に貢献していきたいことを表明しました。



厳浩会長が江蘇省日本開放イノベーション協力交流会で講演

江蘇省日本開放イノベーション協力交流会は江蘇省婁勤儉共産党書記が率いる訪日団が日本経済界との交流活動の一環であり、江蘇省と日本の経済貿易における協力をより一層推し進める目的で開かれました。婁書記が“水の韻”という江蘇省の特徴を以て江蘇省を紹介する基調講演を行い、中国大使館宋耀明経済商務公使、日本貿易振興機構佐佐木伸彦理事長、日本国際貿易促進協会笠井燾雄理事長がそれぞれ挨拶されました。日本の商工団体、企業界、金融界から約700名が今回の交流会に参加されました。



日本の商工団体、企業界、金融界から約700名が交流会に参加

益新集団広報渉外チーム
2019年5月31日